

平成30年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	35	学校名	茨城県立那珂高等学校				課程	全日制		学校長名	石井 孝					
教頭名	熊木 義明								事務長名	豊原 洋子						
教職員数	教諭	29	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	5	実習教諭	1	事務職員	3	技術職員等	3	計	47
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計				
	普通科	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数				
		68	93	68	92	54	106	0	0	190	291	12				

2 目指す学校像

本校の最大の特色である『出口（進路実現）に責任を持つ学校』を実現するために次の3つの柱を重点項目とする。

- ①進路希望を確実に達成：生徒一人一人に対するきめ細やかで適切な学習指導及び進路支援を行う。
- ②特別活動の振興：活力ある多彩な教育活動を展開し、その活動を通して生徒の人間教育を実践する。
- ③国際交流の推進：グローバルな視点を持つ人材育成の観点から海外派遣や受け入れ等、国際交流を実践する。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	家庭学習時間の増加が課題である。学習記録表記入で意識付けに取り組んでいるが、更なるレベルアップが必要である。	学習意欲の高揚，学力向上・定着，家庭学習の習慣化等の早期対応
進路指導	生徒の進路意識は向上しつつある。国公立大学合格者6名(過年度1名含む)と、結果にも表れてきている。	より高い進路目標へ向けた達成方法の確立と、進路意識の向上のために必要となる力や態度の育成
生徒指導	制服の着こなしは着実に向上してきているが、まだカーディガンやハイソックス等の着こなしが徹底していない部分がある。	基本的な生活習慣の確立，品格のある制服の着こなしの徹底
特別活動	学校行事、部活動とも生徒の取り組む姿勢に活性化が見られ、競技力の向上が見られる。	生徒の自立的な取り組み推進への指導と支援並びに中学生へのPR推進
国際理解教育	アサートン高校との交流は、ここ数年、派遣のみが隔年で実施されている。県・市等の国際交流協会を通して、台湾やアメリカとの交流の機会が増加している。	派遣交流への生徒の希望者の増減が激しい状況下での継続方法等の検討。交流機会を通しての国際理解の深化を図る。

4 中期的目標

- 1 生徒の意欲的な学習を促すために、より生徒の進路目標に応じた選択の幅の広い教育課程を編成するとともに、教科指導に関する研修を充実させ、教育内容の改善を図る。
- 2 入学時の進路目標である四年制大学への進学を実現するため、生徒・保護者面談、進路ガイダンス等の充実を図るとともに、課外授業や各種校外模試への参加を推進する。
- 3 基本的な生活習慣を確立させるために継続的な根気強い指導にあたりるとともに、特別教育活動の充実を図る。
- 4 本校での意欲ある学校生活をめざす生徒の確保を目指し、本校教育活動の中学校等への広報活動の充実を図る。
- 5 海外派遣等や海外からの訪問団の受け入れを通して、グローバルな人材育成と国際理解教育を推進する。
- 6 積極的に情報を発信し、同時に保護者、同窓会、学校評議員及び地域関係者等と連携を深め学校運営に生かしていく。

5 本年度の重点目標

重点項目		重点目標
学習指導	生徒の能力の開発と確かな学力を身に付けさせる指導内容等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業時間の確保とPDCAサイクルによる授業や学習指導法、評価方法の工夫・改善 ② 学習方法の指導充実による家庭学習の習慣化と時間増 ③ 課外授業の充実と積極的参加促進 ④ 学校図書館の充実と積極的活用
進路指導	高い目標へ向けた進路選択と教師の支援を含めたその達成	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 進路意識の高揚を図るための発達段階に応じた進路指導 ⑥ 進路情報等の収集・分析による計画的な進路指導 ⑦ 個別面談の充実 ⑧ 進路出口の質的向上
生徒指導	自律的な生活態度の確立	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 基本的な生活習慣の定着と規範意識の涵養 ⑩ 生徒理解に基づいた生活指導の推進 ⑪ 教育相談の充実 ⑫ 家庭や地域社会及び関係機関との密接な連携による問題解決
特別活動	活力ある学校生活の実現	<ul style="list-style-type: none"> ⑬ 学校行事やホームルーム活動等への積極的な参加の推進 ⑭ 生徒会活動や各種委員会活動の活性化 ⑮ 部活動等への積極的な参加促進
国際理解教育	日本や外国の文化に対する関心・理解の深化と他者を尊重する態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ⑯ 海外短期留学や異文化理解活動の円滑な実施 ⑰ 多様な交流事業等を通して国際理解教育の促進とグローバルな視点を持つ人材の養成